

November 19, 2008

JAWIC

Seattle News

米国 10 月の住宅着工、戦後最低水準。

10 月の住宅着工数は年率 79.1 万戸で、商務省が公式統計を戦後取り始めて以来の最低水準となった。前月の 82.8 万戸からは-4.5%、前年同月の 127.5 万戸に比べれば 38.0%の落込み。一戸建ては年率 53.1 万戸で前月比-3.3%、前年同月比-39.9%、ピーク時の 3 割の水準にまで低下 (図 1)。地域別には特に北東部での落込みが顕著 (前月比-31.8%、前年同月比-51.6%)。先行指標となる建築許可数も 70.8 万戸と前月に比べ 12.0%減少、前年同月比では-40.1%。

リアルティートラック社集計の 10 月フォクロージャー件数 (手続中を含む) は 279,561 件 (米国全体では 452 世帯に 1 件の割合) で前月比+5%、前年同月に比べれば+25%、34 ヶ月にわたり増加傾向が続いている。

NAHB (全米ホームビルダー協会) が発表している住宅市場指数 (Housing Market Index) は 11 月には 1985 年に指数作成開始以来の低水準 9 となった (図 2)。住宅分野の企業心理の冷え込みを反映している。

図1：住宅着工（年率季節調整、1,000戸）

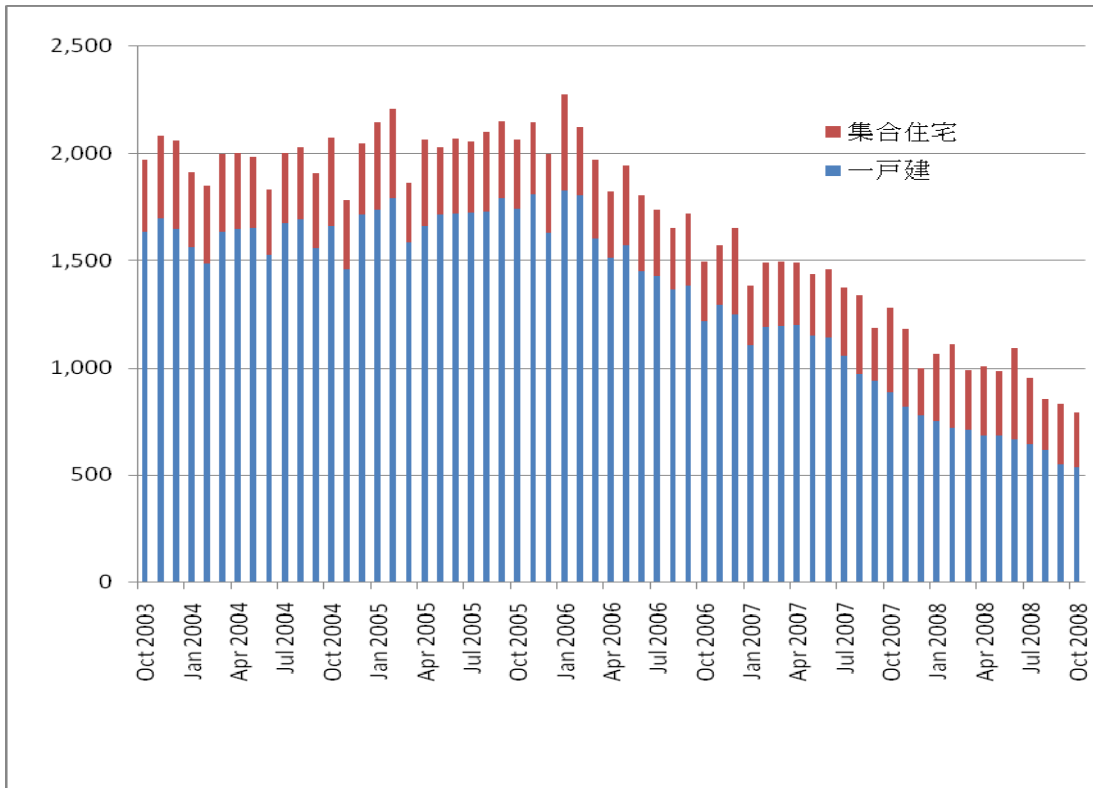
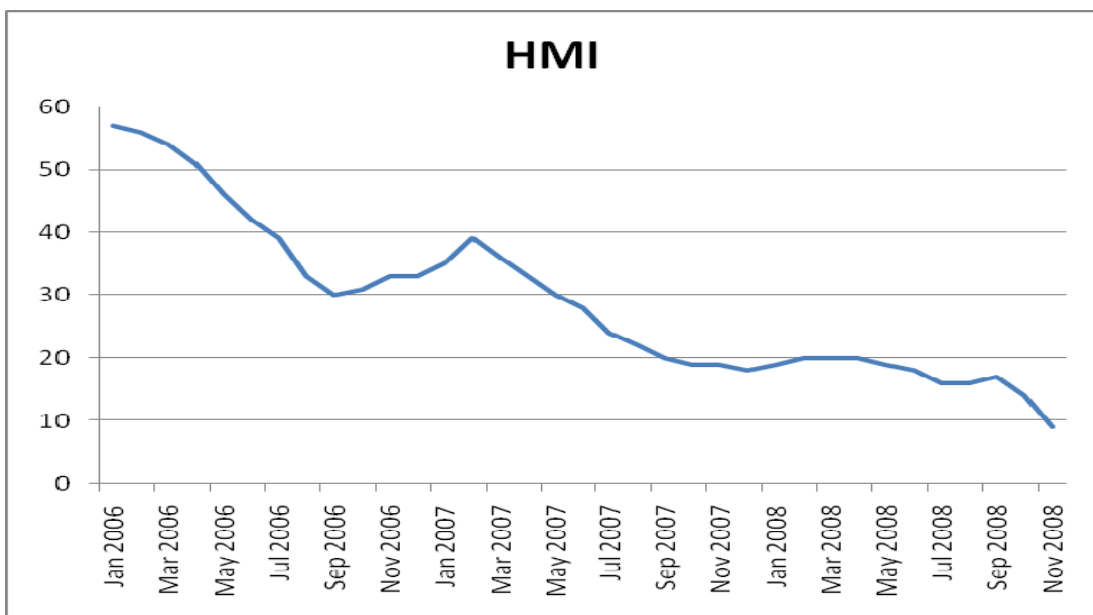


図2：住宅市場指数



注：指数が50であれば強気弱気半々といえる。